

Pitchari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第179号

ななえ古写真物語

VOL.179

観光地大沼の変貌

大沼観光案内所の開所

昭和39年

大沼国定公園



Nanae Historical
Museum Collection

昭和24年に設立した大沼観光協会の趣意書には「…欺くの如く、見えざる輸出としての観光事業が我が国再建の上にもたらす影響は、実に大であって、観光こそは今日の日本に残された唯一の資源であると言うとても過言ではないと信ずるものであります。…」と、観光が産業として重要となることを予見している。戦後ということもあり、復興を視野に入れた展望なのは納得である。

その後、昭和33年に念願の国定公園へ昇格した大沼は、これまで以上に観光地としての役割を強めていくこととなる。その影響もあってか昭和39年に、写真の観光案内所が開所した。建物は旭屋の一部を借り上げ、町職員と観光協会それぞれから一名ずつ職員を配置する共同運営だったと記録に残されている。昭和40年には町役場に観光課が設置されるなど、ようやく行政も加わった観光地づくりに取り組まれていったようである。

例えば、大沼公園広場に観光デパートが設置されたり、新たなホテルが開業したり、大沼公園公民館の設置や青少年センターユートピア大沼が落成するなど、40年代の大沼地区の変化は文字記録だけでも、新たな建物の建設や、新事業の展開など相当盛んだったと想像できる。

また、移動手段についても、これまでの自動車だけではなく、バスや自家用車が普及したことが、賑わいを後押しした理由の一つなのかもしれない。この時期に撮影した大沼には、学生服を纏った修学旅行生が写っているものが多い。現在駐車場として利用されている場所も、湖を埋め立てて作った程なので、それだけ車を利用する観光者が増加したことがうかがえる。上の写真からも観光バスらしき姿や学生、サラリーマン風、親子連れなどなど実に多様な人々が、思い思いに観光していたと想像できる。そんな方々に、この大沼観光案内所が利用されたのだろう。

話を現代へと戻す。つい先日、所用があり大沼を訪れたのだが、想像よりも賑わっていたように感じた。コロナ禍となり数年たったのだろうか、かつてのような外国人観光客ばかりだった頃とは少し違う景色に思えた。大沼に観光協会が設立されて半世紀以上経過した。いつの時代も、客を惹きつける苦労は絶えないのだろうし、近年では情報発信の仕方も多様化し、地方間の競争も激しくなったと感じる。日本に残された唯一の資源としての観光は、国際社会の変化に柔軟に対応しつつ、ほかとの差別化が求められる時代へと突入したようだ。

22日 ジュニア探検クラブ

この日は、ゆっくりと散歩しながら、秋探しです。木の実や種を探してみたり、一面に広がるコケに触れてみたり、球面状に剥がれた石を探してみたりと、歴史館を起点に半径1.5kmほどの範囲を歩いただけですが、木の実、キノコ、松ぼっくり、巨樹・古木など、街は道路と建物だけではなく、こういった自然物もしっかりと組み込まれていることを、肌で感じる事ができたのなら有意義な散歩になったと思います。



テーマを決めて紹介しています。

学習室の入口近くの棚では、ひと月に一度テーマを変え、選書をしています。始めて3年ほど経ちますが、手に取って頂ける機会が増えました。今年は環境問題を考える本やちょっと変わった研究の本、夜の本棚などをテーマにし、一般書と児童書を組み合わせで紹介しています。今月は「もっとりんごのことを」と「今さらだけど知りたい」。後者の「数え方のえほん」では、魚のさよりは「一筋」「一条」など細長いものを数える単位だと教えてくれます。



企画展示が始まりました。

企画展「手仕事のぬくもり 一日々の暮らしに寄り添うもの」を来年1月15日（日）まで開催しております。持続可能とか環境に優しいものとか、世の中の流れでは兎角言われておりますが、身の周りの限られた材料で家事や仕事の合間を縫い、仕事着や防寒具等を作り、農閑期には、工芸品まで自らの手を使い伝承していた時代がありました。本展示では、収蔵資料の中からそれらの技を皆さんに見てもらい、何か心に感じて貰えたら幸いです。



| | | |
|----|---|---------------|
| 1 | 木 | 企画展開催中（～1/15） |
| 2 | 金 | |
| 3 | 土 | |
| 4 | 日 | |
| 5 | 月 | |
| 6 | 火 | |
| 7 | 水 | 夜の博物館 第1夜 |
| 8 | 木 | |
| 9 | 金 | |
| 10 | 土 | |
| 11 | 日 | |
| 12 | 月 | |
| 13 | 火 | |
| 14 | 水 | |
| 15 | 木 | |
| 16 | 金 | |
| 17 | 土 | |
| 18 | 日 | |
| 19 | 月 | |
| 20 | 火 | ピチャリ第180号発行 |
| 21 | 水 | |
| 22 | 木 | |
| 23 | 金 | |
| 24 | 土 | ジュニア探検クラブ |
| 25 | 日 | |
| 26 | 月 | |
| 27 | 火 | |
| 28 | 水 | |
| 29 | 木 | |
| 30 | 金 | |
| 31 | 土 | 年末年始休館日 |

※12/31～1/5は休館日になります

多雪兆候

日本各地に伝承される植物の多雪兆候の中で、秋田県では、イチヨウの葉が一斉に落ちると次の冬は雪が多いという。



編集後記 ～tawagoto～

十数年お客さまと接していると、良いこともそうでもなことも、同じ数だけある。残念だが、度々のお願いをしても観覧のマナーを守ってもらえないこともある。そんな中、先月学習室に訪れた方が、熱心に大沼の資料を読んでいるので、お声掛けしたら、町内の小学校で授業を行うために下調べをしているという。こちらまでできる限りのお手伝いをしたいと一緒に資料を探した。自分が生まれた町に興味をもって欲しい。その言葉と笑顔に勇気もらった。

Pichari ～ピチャリ～
第179号

令和4年11月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp